Campus Mail
For all the students
FIT Fukuoka Institute of Technology 福岡工業大学
この件のお問い合わせは入試広報課へ
TEL：092-606-0607
MAIL：nkouhou@fit.ac.jp
掲示期間 2026-162
11 月 13 日～12 月 3 日

2026 年度「教学マネジメント委員意見交換会」を開催しました

10 月 14 日（水）、2026 年度「教学マネジメント委員意見交換会」を開催し、教員・職員 18 名が参加しました。本会は、評価・推進部会の構成員を対象に、学生の主体的・自律的な学びをさらに促進するため、現在検討が進められている「アクティブラーニングの再定義（FIT-AL2.0）」および「授業実施における AI 活用ガイドライン（案）」への理解を深め、授業現場の視点から意見交換を行うことを目的として実施されました。


山澤部門長による開催挨拶




利光アドバイザーによる説明

FIT-AL2.0 に関するセッションでは、大学教育を取り巻く環境の変化を踏まえ、学生一人ひとりが主体的に学び、学修を振り返りながら成長する教育の実現に向けた新たな考え方が共有されました。グループ討議では、「主体的な学び」の具体的な姿を明確化する必要性や、成果物だけでなく学修プロセスそのものを評価する仕組みの重要性について意見が交わされました。また、授業規模や科目特性に応じて段階的に導入できる仕組みづくりや、教員が実践しやすい具体的な授業例・評価方法の提示を求める声も挙がりました。

続いて、生成 AI を学修の代替ではなく、理解の深化や発想支援のためのツールとして活用することを基本方針とした「授業実施における AI 活用ガイドライン（案）」について説明が行われました。参加者からは、授業目標や課題の目的に応じて AI 利用の可否や範囲を明確に示す必要性や、レポートだけに依存しない多様な評価方法の重要性が指摘されました。また、AI 活用を前提とした授業・課題設計の見直しや、教員・学生双方に向けたガイドライン整備、AI リテラシー教育の充実を求める意見も共有されました。

参加者アンケートでは、「他の教員の実践事例や考え方を知ることができた」「多様な意見交換ができ有意義だった」といった声が寄せられました。本意見交換会は、授業実践に基づく知見や課題認識を共有しながら、本学が目指す学修者本位の教育の実現に向けた検討を深める貴重な機会となりました。







※本件の詳細は https://oped.fit.ac.jp/news/190/detail をご参照ください。